



出荷を待つ和同産業の主力商品。雪のなかでも映える赤いボディ



1時間10台を目安に流れ作業で製品を組んでいく小組工場

自社開発による新製品は 世界初のロボット草刈機

花巻市／和同産業株式会社

✓ 社長メッセージ



代表取締役社長 照井 政志

自律型のロボット草刈機は、我が社がはじめて世に出した商品です。我々は自信をもっていい商品だと思っています。除雪機に次ぐ主力商品として、世の中の多くの方々に使って欲しいと開発しました。花巻で社員のしあわせな暮らしを守りながら、自社の力を集めて、ゆくゆくは世界にも展開していきたいと考えています。



動画でキラリ
会社訪問

自社開発の除雪機で、業界でトップシェアを誇る和同産業は、今秋ロボット草刈機を発表した。世界初の自律型の草刈機は、農業環境や公園管理等、さまざまな場面での活用が見込まれる。新商品を中心に、新しい事業展開が注目されている。

国内シェア7割の除雪機

和同産業の主力商品といえば、冬に使われる除雪機やスノーブレードであった。自社ブランドの商品は馬力の大きなものから、10馬力以下の小さなOEM商品も請け負っていて、その分も含めれば国内シェアは7割に及ぶ。雪国生まれ雪国育ちのメー

カーだからこそ開発できた商品だ。安全な除雪作業のために、さまざまな制御技術を開発してきた。

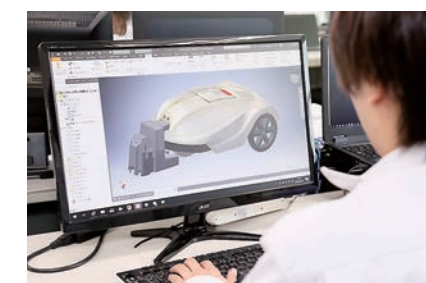
しかし使用期間に限られる商品であり、雪の降る地域だけという購入エリアが限定されることもあって、常々新しい商品開発を目指してきた。そこで誕生したのが、「ロボット草刈機」だ。

自律する草刈機が完成

2018年10月にお披露目されたロボット草刈機は、ワイヤーで範囲を仕切ると、あとは自動で草刈りをするマシンだ。

「国内に流通している草刈機は芝生用が主で平坦な面だけ動く。自律型で長い草を刈るタイプはない。つまり世界初の商品なんです」と、照井政志社長は語る。一回の充電で、駆動時間は約1時間。充電が不足すれば、

自ら電源に戻り自動充電し、また活動する。一般の家庭用電源が使えるうえ、電源がとれない場所のためにオプションでソーラーパネルシステムも用意している。時間や天候に関係なく、働き続ける。労働力不足の日本、さらには世界でも有効活用されるポテンシャルの高い商品である。PINコード入力機能で盗難を抑制し、草刈作業中でも状況確認などがスマートフォンで管理できるようになっている。



ロボット草刈機は自社の商品開発部で誕生した

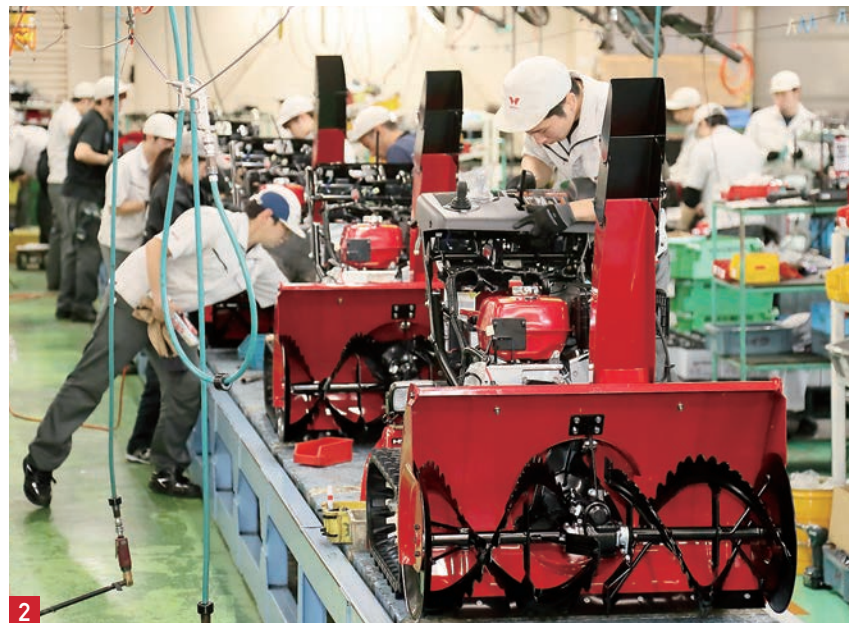
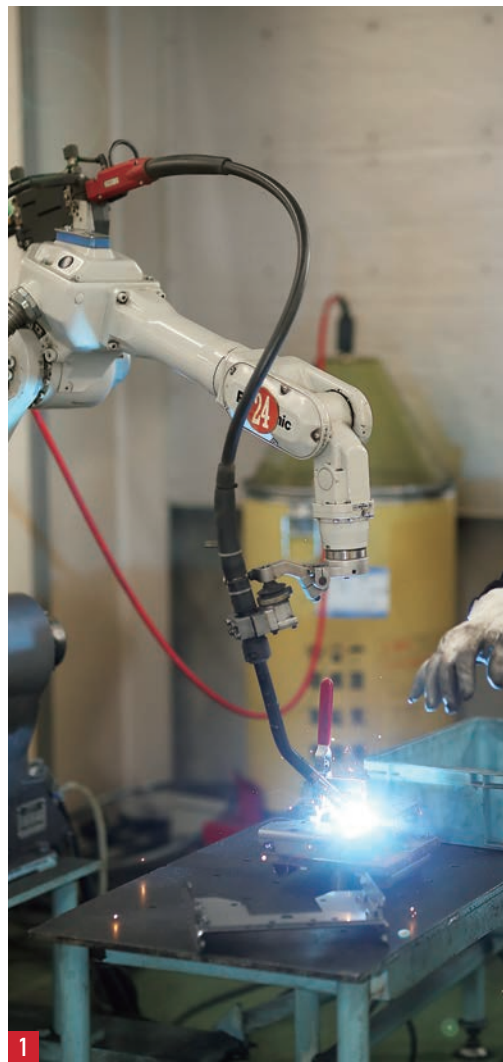
自社開発の風土

もともと同社はトラクター装着用作業機器のアタッチメントメーカーからスタートした。創業者が本田宗一郎にアタックし、ホンダと契約した。その後、耕耘機を使って除雪機を開発。草刈機も含め、和同産業ブランドの商品は、自社開発によるものだ。商品開発部では、常に新商品及びモデルチェンジの開発を行っている。

このロボット草刈機は、除雪機で培ったECU(エレクトロニックコントロールユニット)がベースになってい



ロボット草刈機(自律走行無人草刈機MR-300)。和同産業の次代を担う新商品



1 溶接はロボットで自動化 2 ラインの流れ作業で製品が完成する 3 商品開発部での会議。社長も交え、白熱していく 4 1日5、6台のトラックに乗せ出荷している

る。商品開発にはおよそ2、3年費やした形だが、それ以前からの、自社開発のノウハウが積み重なって誕生したといえる。

新商品の普及は、良さを知ってもらうことから始めるという。

「とにかくいい商品なのでまずはいろいろな方々に使ってもらい、良さを実感してから拡散してもらいたい」と、照井社長。2019年春から、全国で100件ほどモニターをお願いし、実際の評価を得て、売り出す予定だ。不具合が出るのも電子制御部分と想定されることから自社対応しかないと判断し、ユーザーが宅配便で送れるよう、重さも15キログラムに設定した。販路拡大は企業の使命。除雪機も草刈機も、ゆくゆくは海外進出を

意識しているという。

3Sを実践し地元の優良企業へ

社内では3S活動にも取り組んでいる。毎日朝礼のあとの10分間を、3S（整理・整頓・清掃）に当てている。県南広域振興局の指導から始まった活動で、いまも北上市・奥州市の企業4社がグループを組み、月に一度集まる活動を4年続けている。職場の環境の改善もそうだが、物探しの時間が減り、異業種交流にもなっている。お互い視察をしたり刺激を与え合っ

て活動している。地元の地域企業として、労働力不足は否めず、ベトナムからの研修生を受入れ、ノウハウを教えながら人材育成も行っている。いまは溶接、塗装、

組立の技術を学んでいる。

「社員がこの会社で働いて、この会社を通じて、自分の将来の夢の実現が描けるといいと思っています」と照井社長は語る。そのためには企業として発展し、花巻のいい働き先でありたいという。新商品のロボット草刈機の普及が未来の鍵になっている。

表紙の答え：ロボット草刈機の操作スイッチ



スマートフォン対応ですが、本体にスイッチもついています。操作部をオープンすると自動的に停止します。

「キラリ★成長物語」

- 01 よろず支援拠点に事業プランを相談する。
- 02 岩手県の「いわて戦略的研究開発推進事業」を紹介される。
- 03 事業計画をまとめ、プレゼン。事業案が採択(H29)される。(共同研究機関：岩手大学)
- 04 世界初のロボット草刈機の開発に向け、開発費の支援を受ける。

会社からひとこと

今回のロボット草刈機開発の際に、「よろず支援拠点」にまずは「こういうものを造りたい」と、相談しましたところ、相談員がとてもしの県の研究開発支援事業を教えてくださいました。事業計画のプレゼンも成功して、支援が受けられることになり、開発に弾みがつきました。さらなる高機能化をめざして、これからも自社開発に力を注いでいきます。

支援担当の声

産学連携による研究開発で製品化したロボット草刈機。より多くのお客さまに喜んでいただけるよう引き続き支援を行います。今回のケースをモデルケースとして、今後も研究開発支援の更なる充実を図って参ります。

技術ポイント



自社のノウハウを最大限活かす

これまでの自社開発の設計や技術をベースに、さらに進化させていく。



大手メーカーのOEMを務める技術力

大手の仕事を続けてきた技術力と信頼。



米国ケンタッキー州の展示会に出展

世界最大級の農業機械の見本市（通称レイビルショー）に参考出展。



3S実践の職場環境

「毎日きちんと清掃」を主体に、生産効率を高める整理・整頓を行う。

企業DATA

会社名 和同産業株式会社
代表者 照井 政志
業 種 一般機械製造業
工 場 岩手県花巻市実相寺410番地
電 話 0198-24-3221

沿革 昭和16年／盛岡市で「東北資源株式会社」創業
昭和21年／花巻市に移転。社名を和同産業株式会社に改称
平成28年／小型除雪機SXC1070発売
平成30年／ロボット草刈機開発

従業員 256名
資本金 4,900万円
URL <https://www.wadosng.jp/>

